

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月10日

計画の名称	五所川原市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	五所川原市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	135	A	135	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （R2当初）	中間目標値 （R2末）	最終目標値 （R3末）
1	下水道区域内処理人口普及率を85.3%（R2当初）から86.0%（R3末）に増加させる。 下水道区域内処理人口普及率 = 下水道処理人口（人） / 下水道区域内行政人口（人）	85%	85%	86%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	五所川原市	直接	五所川原市	管渠(汚水)	新設	中部処理系統汚水枝線整備	200mm L=1.2Km A=5.4ha	五所川原市						132	-		
	A07-002	下水道	一般	五所川原市	直接	五所川原市	-	-	調査・設計	効率的な事業実施に向けた計画検討ほか	五所川原市							3	-	
		種別2:全種																		
		小計																	135	
合計																			135	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上下水道部内にて事業評価を実施	事業終了後
	公表の方法
	五所川原市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交付対象事業の実施により枝線の整備を進めた結果、令和2年度当初から令和3年度末までの下水道整備面積が598.8haから608.0haに増加、全体計画面積に対する整備率は令和2年度当初の74.7%から75.8%と1.1%向上し、公衆衛生の向上及び生活環境の改善に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	交付対象事業の効果として、水洗化率が令和2年度当初の85.9%から令和3年度末時点で0.7%向上し86.6%になり、全行政人口に対する普及率が36.6%から0.7%向上し37.3%となっている。
特記事項（今後の方針等）	
今回の計画期間における、中部処理系統での施工延長1,271mの工事では特に問題もなく施工が完了した。今後の方針としては、供用開始区域における水洗化率を向上させるため、広報、啓発活動に力を入れ、下水道普及促進についてより一層努めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道区域内下水道処理人口普及率	
	最終目標値	86%
	最終実績値	85%
	下水道区域内下水道処理人口普及率については、宅地の郊外化が進行した結果、下水道区域内行政人口及び下水処理人口が共に減少したため、当初想定していた最終目標値（R3末）86.0%を0.6%下回り、最終実測値（R3末）が85.4%となった。	